

平成30年12月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者11名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	<p>1 聴覚障がい者への支援について</p> <p>2 名取市地域防災計画について</p> <p>3 学校給食摂取基準について</p>	<p style="text-align: center;">14番 菊地 忍</p> <p>(1)人工内耳の方に対し、電池代や音声信号処理装置（スピーチプロセッサ）等の購入費を助成すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2)手話言語条例を制定すべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)「避難所の開設・運営に必要な事項について、あらかじめ避難所運営体制の構成員において検討し、避難所運営マニュアルを作成しておく」とあるが、避難所ごとにマニュアルを作成すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2)「想定される最大避難者数の3日分の確保について検討し、備蓄計画の検討や段階的な備蓄に努めるものとする」とあるが、備蓄品について何が不足し、どのように充足しようと考えているのか。</p> <p>(3)「避難行動要支援者一人ひとりの避難支援が、迅速かつ適切に行えるよう、誰が、どのような支援を行うのかを避難行動要支援者ごとに具体的に記載した個別計画が策定されるよう努める」とあるが、地域に任せるだけではなく、市が積極的にかかわり取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)平成30年8月より学校給食実施基準の一部が改正され、学校給食摂取基準の見直しが図られた。本市の学校給食における摂取基準の達成状況を明らかにすべきと考えるがどうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p>	
2	<p>1 (仮称)歴史民俗資料館について</p> <p>2 歴史遺産の活用について</p>	<p style="text-align: center;">1番 大泉 徳子</p> <p>(1)現在の図書館が移転した後に設置が計画されている(仮称)歴史民俗資料館整備事業の進捗状況を伺う。</p> <p>(2)文化財資料整理室で保管されている資料や出土品等の活用は。</p> <p>(3)資料館を中心に、市内に点在する歴史遺産への関心と誘導、また、観光資源としての活用を図るべき。</p> <p>(4)(仮称)歴史民俗資料館ボランティアの育成と活用を図るべき。</p> <p>(1)展示を中心に20回開催された「ふるさと名取の歴史展」は今後、フィールドワークとして開催してはどうか。</p> <p>(2)東北最大級の雷神山古墳を有することから、「古墳サミット」の開催でネットワークづくりを行ってはどうか。</p> <p>(3)「名取の歴史遺産 まるごとお宝100選MAP」と連動したアプリの開発を行い、詳しい史跡等の解説を行ってはどうか。</p> <p>(4)多くの歴史遺産を有する市として、学芸員を配置し、さらなる調査研究と資源活用を進めるべき。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市長 教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
3	<p>1 名取市避難行動要支援者避難支援計画について</p> <p>2 学校をよりよい教育の場に</p>	<p style="text-align: center;">16番 小野寺美穂</p> <p>(1)名取市避難行動要支援者避難支援計画の進捗状況を伺う。 (2)東北の市町村の作成率が伸びないとの報道があったが、その理由・原因等をどう捉えているのか。 (3)市内各地区における説明会等で出された具体的な課題の内容は。 (4)実際に支援行動をした場合のリスク等の対策は検討されているのか。 (5)計画の主体となり得る組織の自主性に委ねるだけではなく、個別具体的な要因を想定した上での行動計画を示すべき。</p> <p>(1)学校現場における長時間労働の現状をどう捉えているのか。 (2)持ち時間の上限を定め、そのための定数改善計画を実施すべき。 (3)学校の業務削減を国と自治体、学校現場の双方から推進すべき。 (4)教職員の働くルールを確立すべき。 (5)公立・私立での非正規教職員の正規化と待遇改善を求めるべき。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	
4	<p>1 子育て支援策について</p> <p>2 行政サービスの向上について</p>	<p style="text-align: center;">6番 荒川 洋平</p> <p>(1)平成31年度4月から私立認可保育所の設置により新たに279人の定員数を確保できる予定であったが、1事業者の辞退により69人減の210人となった。そこへ至る経緯と、改めて、来年度からの保育の状況と、施設の整備状況、事業者の準備状況について伺う。 (2)現在の入所申し込み状況を伺う。 (3)待機児童については、名取市地方創生総合戦略の中で、平成29年度に解消し、その後平成31年度まで0人を維持するとあるが、今後の解消へ向けた方策について伺う。 (4)就学前の子を持つ保護者が期待していた認可保育所が1つ減ったことにより、入所できない子が出てくることが考えられる。早急に市が土地、または物件を確保し事業者を募集し、特に必要な地域へ認可保育所を設置すべき。 (5)さらに、平成31年度の一時預かり事業の定員増へ取り組むべき。 (6)人材確保及び定住促進を目的とし、市内の保育士等に家賃補助を導入すべき。</p> <p>(1)地域情報、観光、防災、子育て、健康福祉等の便利な情報を、地域の活性化や安全安心に資するものとして、市民へ手軽に情報を提供できるスマートフォン用のアプリを開発し、積極的な活用を推進すべき。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(2)各種証明書の発行手数料や、公共施設での使用料等で電子マネー決済を導入すべき。	市 長	
5	1 良好な環境の保全について	5番 吉田 良 (1)名取市環境基本計画に掲げられる12の目標値と63の行政の役割（施策の実施）のうち、これまでに達成または実施されたのはどの項目か。また、最終年度とされる平成32年度までに達成または実施されると見込まれるのはどの項目か伺う。 (2)ポイ捨て禁止条例の制定が見送られ続けている理由を伺う。 (3)ポイ捨てを禁止するばかりではなく、抑止する手法もある。市は、屋外へのごみ箱設置を積極的に進めるとともに、ごみ箱の設置を推進する制度の創設を検討すべき。 (4)生ごみ堆肥化容器購入費補助金の交付上限額を引き上げるべき。 (5)家庭の生ごみ堆肥化容器によって作られた堆肥を有効活用できる仕組みを構築すべき。 (6)市の環境に対する市長の思いが、平成29年度の環境審議会委員の選定にどう反映したのか伺う。 (7)来年9月の環境審議会委員の改選に当たっては、名取市環境基本計画の理念を前進させるよう考慮すべき。	市 長  市 長  市 長  市 長 教育長 市 長  市 長	
	2 温室効果ガスの排出抑制について	(1)名取市温室効果ガスの排出抑制等のための実行計画に基づく平成29年度の取り組み結果への評価を伺う。 (2)なとりん号の運行による温室効果ガスの排出に対し、市が関与していない現状をどう捉えているのか伺う。 (3)バス停車時におけるアイドリングストップの条件の基準を定めるなど、公共交通対策事業での温室効果ガスの排出抑制に取り組むべき。 (4)学校へのエアコン設置に伴い、児童生徒を活動の主体とする「緑のカーテン」事業を推進すべき。 (5)環境保護団体と連携し、市がかかわるイベントにおけるブースの設置や教育施設における公開講座等の開催を通し、温室効果ガス排出抑制を啓発する機会を拡大すべき。 (6)温暖化防止のための取り組みについて、ホームページやSNSを活用し、広く周知すべき。	市 長  市 長  市 長  教育長  市 長 教育長  市 長	
6	1 自然を楽しむ環境整備について	13番 長南 良彦 (1)樽水ダムの景観確保と公衆トイレの改修など公園の維持管理を徹底すべき。 (2)東街道の復元や高館城跡展望広場など、自然に触れ合い、歴史文化振興に親しめる環境を整備すべき。	市 長  市 長 教育長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 旧名取スポーツパークについて	<p>(3)高館山いこいの広場への車道を拡幅整備し、通行の安全確保と来訪者増加に努めるべき。</p> <p>(1)学校法人「理知の杜」が購入に至った経緯と来年度の利用開始について、市はどのような情報を得ているのか伺う。</p> <p>(2)学校法人が補修・改修する管理棟やスポーツ施設の利用計画に対する市長の考えを伺う。</p> <p>(3)市民が施設内をいつでも自由に利用できるよう学校法人に働きかけるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
7	<p>1 児童生徒の学校携行品に係る配慮について</p> <p>2 教育費の負担軽減について</p> <p>3 いじめ防止対策の推進について</p> <p>4 子供に寄り添った教育活動について</p>	<p style="text-align: center;">9 番 大沼 宗彦</p> <p>(1)文部科学省は平成30年9月に児童生徒の携行品の重さや量への配慮について通知したが、本市の学校における現状を伺う。</p> <p>(2)児童生徒の健全な成長を考慮し、教材教具の軽量化を図るべき。あわせて、副読本や資料集などは、教室や図書室の備品として常備すべき。</p> <p>(3)家庭学習で使用する予定のない教材等を児童生徒のロッカーの中などに置いて帰ることを認める「置き勉」を活用するなど、携行品軽量化のためのマニュアルを示すべき。</p> <p>(1)入学時のランドセルは、市の無償支給とすべき。</p> <p>(1)いじめ等の実態把握の推移と対応策について明らかにすべき。</p> <p>(2)いじめの定義を児童生徒、教職員、保護者間で共有する努力は、どのように進めてきたのか。</p> <p>(3)児童会、生徒会での取り組みと課題について伺う。</p> <p>(4)保護者、地域とのかかわりによる成果と課題について伺う。</p> <p>(5)児童生徒の心のケア強化のため、養護教諭の増員について要望すべき。</p> <p>(6)本市において「子どもの人権オンブズパーソン制度」を導入し、調査・相談・提言できる体制をつくるべき。</p> <p>(7)スマートフォンやラインなどの利用がきっかけとなりいじめやトラブルにつながることを防ぐため、学校や関係団体等の協力を得て、児童生徒及び保護者が安全で正しい利用方法を学ぶ機会をつくるべき。</p> <p>(1)小学校において、十分な教材研究や準備ができるよう、一人の教員の適正な授業時数を示すべき。</p> <p>(2)小学校での専科制を取り入れて、空き時間を確保し、日常的に子供と触れ合う時間を確保すべき。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	5 通学路の安全対策について	(3)宮城県教育委員会が策定した「部活動での指導ガイドライン及び部活動指導の手引」を受け、教職員の業務改善は進んだのか伺う。  (1)第一中学校前の都市計画道路植松田高線改良工事に伴い、安全対策はどのように進められるのか。 (2)道路工事完了後に交通量の変化を調査し、現状を検証した上で改めて安全対策を講ずるよう県に要望すべき。	教育長  市 長 市 長	
8	1 市民・地域の団体等との連携について  2 社会福祉協議会との連携について  3 不登校児童生徒の居場所づくりについて	2 番 大久保主計  (1)地域の団体へ交付している補助金の基本的な考え方を伺う。 (2)市民活動・地域の団体とのパートナーシップにおける課題と施策を伺う。 (3)市民活動・地域の団体と連携し、活動環境の整備に積極的に取り組むべき。  (1)福祉政策における連携の具体的施策と、その課題を伺う。 (2)補助金と人事、事業支援の適正化に取り組むべき。  (1)不登校児童生徒の現状をどう捉えているのか。 (2)居場所づくりに取り組むべき。	市 長 市 長 市 長  市 長 市 長  市 長 教育長 市 長 教育長	
9	1 アスベスト対策について  2 熊野信仰とその歴史遺産について  3 農業農村整備事業について	1 9 番 山田龍太郎  (1)国土交通省が進める民間建築物における吹きつけアスベスト等の調査・除去等の市としての相談窓口、対応策はできているのか。 (2)対象となっている市内の建物の把握はできているのか。 (3)アスベスト調査、アスベスト対策工事に対する市の補助金制度について検討すべき。  (1)下余田における名取老女の碑（墓）と名取老女が建ててお参りしたとされる下余田の熊野三社の維持管理に市として援助の手を差し伸べるべきと考えるがどうか。  (1)市街地に隣接し、昔ながらの農村原風景を残している下余田地区を伝統野菜とともに地域の貴重な自然遺産として継承し、都市と農村が調和した環境整備を図るべき。 (2)さまざまな農業体験のできる研修施設もあわせ持った農業の情報発信拠点施設をつくるべき。	市 長 市 長 市 長  市 長 教育長  市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1 0	<p>1 心のバリアフリー推進について</p> <p>2 防災・減災の取り組みについて</p>	<p style="text-align: right;">4番 菅原 和子</p> <p>(1)職員全員が高齢者や障がい者へのさりげない配慮を学ぶ「ユニバーサルマナー検定」を受講すべき。</p> <p>(2)障がいのある方や外国人など話し言葉によるコミュニケーションが困難な方に対して話し言葉にかわる意思伝達ツールとして「コミュニケーション支援ボード」を公共施設の窓口に設置すべき。</p> <p>(1)「地域防災マネージャー制度」を導入し、地域における防災・減災に向けた取り組みを強化すべき。</p> <p>(2)女性の視点で地域の防災活動に取り組む「女性防災リーダー」の育成に取り組むべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
1 1	<p>1 北釜地区防災公園及び広浦地区防災公園について</p> <p>2 将来に増加が予想される「ごみ出し困難者（世帯）」について</p> <p>3 中学校の図書教育について</p> <p>4 保育所を取り巻く現状と課題などについて</p>	<p style="text-align: right;">3番 齋 浩美</p> <p>(1)築山頂上のあずまやに屋根をかけるべき。</p> <p>(1)高齢者や障がい者など、社会的弱者を地域で支え合う、「ごみ出し支援制度」を検討すべき。</p> <p>(1)2013年度より中学校図書室司書が非常勤になっているが、今日までの課題などは。 (2)生徒が図書に触れる機会をふやし、学校の諸課題の対応などに力を発揮する司書を正職員にすべき。</p> <p>(1)今年度の待機児童数は。 (2)2019年10月から保育の無償化が始まるが、どのような影響を想定しているのか。 (3)市内全体の今年度の保育士の人員数は、充足しているのか不足しているのか。 (4)保育所設置の辞退についての経過とそこからの課題は。 (5)新たな事業者を早期に見つけ、待機児童の解消を図るべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	